

発行: NPO法人
地域福祉ネットワークいわき

編集: NPO法人
地域福祉ネットワークいわき広報委員会

〒973-8408
福島県いわき市内郷高坂町四方木田191番地

TEL. 0246-27-2101 FAX. 0246-27-2105

結い

NPO法人地域福祉 ネットワークいわき

あなたを包む優しい光になりたい・・・

私たちの組織は、高齢者や障がい者をはじめとした誰もが自らの意志により、どこでどのように暮らすか(暮らしたいか)を決め、実践することのできる地域社会の実現を目指しています。

理事長あいさつ

新年あけまして
おめでとうございます。

昨年は経済的に厳しい状況の中、福祉の対象となる人々が拡大傾向にある情報に溢れていました。たとえばOECDによる子供の貧困実態に関するデータは事態の深刻さを示し、あらゆる世代への貧困問題対策が急務です。高齢者の生活も恵まれた福祉環境とは言えなくなっています。高齢者世帯の増加と公共交通や商店の減少は生活の基本を脅かす問題です。また地域では近隣者による支援が注目されて久しいのですが、成果は難しい状態が続き、専門機関による本格的な取り組みが求められています。地域の福祉力を復活させるためにインフォーマルなボランティアや住民活動の活性化に向け、各地域包括支援センター主催の地域ケア会議や連携活動を本格的に取り組み始めました。

本法人は持続可能で安全で安心な福祉社会を目指し今年も歩み続けます。何卒ご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。



各包括からのお知らせ

第2 平窪ふれあい会

木曜日 10:00~12:00 平窪公民館

この会は、平窪地区の方が中心となった集まりで、現在は女性15名程度で活動しています。

毎月の計画は、みなさんと話し合って決めています。会では、体操や折り紙などの趣味の活動、あるいは手軽にできる料理づくりなどを教えてくださるボランティアを募集しております！

新しい仲間(参加者)も、男女問わず、随時募集しています！



ボランティア
募集!

お問い合わせ 平地域包括支援センター
TEL 0246-22-1174

毎月開催 ひまわり好友会

平成21年6月より、地域ケア会議の中で地域の課題について話し合いながら、「閉じこもり防止や顔の見える関係づくり、防犯活動をしていこう！」とひまわり好友会(上好間・下組)が結成されました。

メンバーは地域住民の方々や支援団体(好間地区防犯協会、下組自主防災会、ふるさと振興協議会、いわき市健康推進員内郷方部、好間年金友の会、上好間下組環境保全協会、大昭クラブ(老人クラブ)、好間町商工会、好間地区文化協会、いわき好間安全安心レディース隊、(財)東北電気保安協会)で、現在100名程度の方が参加しています。

主な活動は介護予防教室(ピラティス、ヨガ、フラダンス、調理実習、健康ウォーキング講話、認知症予防脳トレーニング)、防災講座、保育所・学童保育との交流など講座が中心で、地域住民の方々がボランティア講師となり、地域全体で取り組んでいます。

また、認知症サポーター講座を定期的で開催し、認知症の方々を地域全体で支える仕組み「認知症になっても安心して生活できるまち」づくりのため、毎月10日ラジオ体操を行った後、認知症サポーターがオレンジリングを手首につけて地域を散歩し、声かけ防犯活動をしています。

ボランティアで講師を行っていた方、興味のある方は是非下記までご連絡ください。お待ちしております。



お問い合わせ 内郷・好間・三和地域包括支援センター
TEL 0246-27-8600

第2・4 BA-BAフラワー会

木曜日 10:00~12:00 常磐公民館

参加者大募集!!!!
地域、年齢、性別問いません!
興味のある方見学からでも
お越し下さい(▽▽)/



現在、60代~80代の方が10名程参加しています。参加費は人数で割り、何を作るかはみんなで話し合って決めています。今までは、紙でうさぎや猫、壁飾り作り、鍋敷き、ブローチなどを作りました。



参加者の声 「来るのが楽しみ。できるできないじゃなくて、やるのが楽しい。」「家にいるよりみんなで話ながらできるのがいいね。」 などなど。

お問い合わせ 常磐・遠野地域包括支援センター
TEL 0246-43-2151

地域ケア会議における実践を通して

~地域関係者の方の声~

現在、勿来・田人地域包括支援センターでは、地域の高齢者見守りサポートについて仕組みづくりに取り組んでいます。

今回は実際に地域ケア会議にご参加頂いている地域の方々の声を紹介します！

「大きく感じていることは、地域の高齢者に対する支援の道筋が出来たこと、相談窓口の明確化がなされたという成果である。以前は活動の中で問題が発生してもどこに相談して良いか分からず、苦勞したことが度々あった。現在は包括支援センターへすぐに安心して相談、連携した支援が可能になってきており、また、なじみの地域住民のアシスト力を充分に生かすことで、部落内の親睦もより一層深まってきている。そのため高齢者の方も安心して相談できる地域が出来てきている。今後も地域包括支援センターと連携し、見守り活動等の充実に努めて行きたい。」



関の子広場サポート部
会長 川口氏



関の子広場総務部
副会長 日渡氏

お問い合わせ 勿来・田人地域包括支援センター
TEL 0246-63-2140

感想募集欄 結いのご感想お待ちしております

NPO法人地域福祉ネットワークいわきでは、皆様の声にあった情報をお伝えできるよう、ご意見ご感想を受け付けております。「こんな記事を載せて欲しい」、「こんなことが聞きたい」など教えてください。

E-mail: yui@npo-fukushinetiwaki.com ←こちらで受け付けています。

地域福祉ネットワークいわき ホームページのご案内

地域福祉ネットワークいわきでは、ホームページを公開しております。以下のアドレスにアクセスしてください。是非ご覧ください!

<http://npo-fukushinetiwaki.com/>

会員募集

会員種別

種別	対象
正会員	法人の目的に賛同し、運営に参画する個人及び団体
賛助会員	法人の目的に賛同し、協力又は援助する個人及び団体
協力会員	法人の目的に賛同し、各種活動に協力する個人及び団体

お問い合わせ/ 特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき
〒973-8404 いわき市内郷高坂町四方木田191
TEL0246-27-2101(事務局まで)



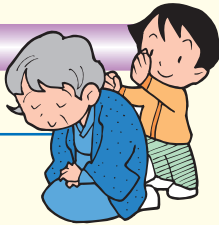
編集後記

おかげさまで「結い」第3号が無事発行されることになりました。新年を迎え、心新たにがんばっていきましょう。

おかげさまで「結い」第3号が無事発行されることになりました。新年を迎え、心新たにがんばっていきましょう。

おかげさまで「結い」第3号が無事発行されることになりました。新年を迎え、心新たにがんばっていきましょう。

いわき市介護予防事業について...



いわき市介護予防事業とは？

皆様の地域には、「最近、足腰が弱ってきた。」「転びそうになって、怖い思いをした。」「歯が弱くなって、食事が進まない。」など悩んでいる方はいらっしゃいませんか？

年齢とともにあらわれる心身の老化は仕方のないことですが、そのままにしておくと、筋力や意欲を低下させ、やがて寝たきりや認知症を招くことにつながります。しかし、日常生活の過ごし方を工夫することで、心身の機能を改善し、自分でできることの範囲を広げていくことができます。この取り組みが「介護予防」です。

いわき市では、65歳以上の方の健康診査の際に生活機能評価（基本チェックリスト等）を実施し、将来的に介護が必要になる可能性が高い「特定高齢者」に該当された方を対象とした「介護予防事業」を展開しております。

「地域包括支援センター」は、「特定高齢者」に該当された方々を介護予防教室へお誘いしたり、介護予防のための計画書を作成するなど、一連の「介護予防ケアマネジメント業務」を行っております。



☆参加者から感想を伺いました☆

「転倒・骨折予防教室」に参加された方にお話を伺いました。

Aさん：参加前は、少し移動するにも疲れてしまい、休みながら歩いていましたが、現在は気が付くと「ここまで休まないで来れたわ」と思うことがあり、身体が軽くなったと感じています。教室では皆で声を出しながら、楽しく参加できたので、気持ちも前向きになったように思います。



「お口・栄養バイタルアップ教室」に参加された方にお話を伺いました。

Bさん：歯科衛生士さんや栄養士さんから、丁寧に教えてもらい、勉強になりました。教室に参加してからは、毎日の生活の中で、食事や口の手入れに気をつかうようになりました。



*介護予防教室は、教室開催の回数が設定されているため、終了後は「教室がもっと続けばいいのに」という声が多数寄せられました。今年度は、転倒・骨折予防教室を終了した有志の方々により、体操サークル『ひまわり貯筋の会』が立ち上がりました。

ひまわり貯筋の会

会長 高野 忠孝さんにお話を伺いました。

Q 会が発足したきっかけはなんですか？

A 3ヶ月の転倒・骨折教室終了間際になってくると、参加している皆さんから、「もう終わってしまうの？」「続けることはできないの？」という声を多数頂きました。そこで、7月末の茶話会にて、「自分だけでは運動を続けられない。皆で集まり運動を続けていきたい。」「ならば自分たちで集まろう」と意見がまとまりました。そして、8月より「ひまわり貯筋の会」の活動がスタートしました。現在、平老人福祉センターを会場にして、月2回開催しています。会員人数は、11名です。毎回の参加人数は、8名程度で行っています。内容は、もちろん体操です。ビデオを観て運動を行います。時折、講師を依頼することもあります。スタートしてから5ヶ月が経ち、会員もまとまり、忘年会を開催するほど盛り上がりつつあります。参加者全員、楽しく、元気に運動を行っています。これからも益々元気に過ごしたいと思います。

参加者の声

- ひとり暮らしだから、自分では、運動が続かないし、話し相手もないからここに来ると元気になる。
- 91歳なので・・・遠慮しようと思っていましたが、誘ってもらって嬉しくて来てしまいました。若い人の中で運動をすると、エネルギーがもらえて楽しいです。



いわき市あんしん見守りネットワーク活動事業について

高齢者見守り隊始動!!

少子高齢化の進行や、高齢者のみ世帯の増加、さらには地域コミュニティ希薄化などに伴い、地域内で孤立する高齢者が増加しています。そのような背景から、緊急に生活支援を必要とする状態になってからの発見や、孤立死など社会的な問題を引き起こしています。今後、地域で暮らす高齢者の自立した生活を支えていくために、介護保険サービスなど公的なサービスの利用はもちろんですが、地域住民の方々が主体となり、あいさつ・声かけなどを基本とする、見守り活動を展開することが重要となっています。



【平窪地区】

①地域ケア会議を始めました。

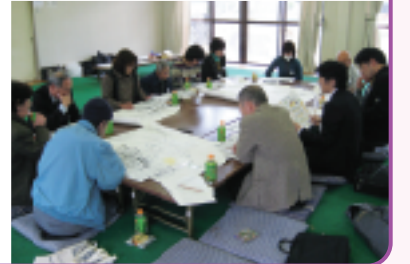
平成20年3月から5回にわたり、地区の代表者や社会福祉協議会、行政関係機関等々が集まり、『平窪地区の高齢者の暮らしを考える』をテーマに地域ケア会議をはじめました。『暮らしの中のちょっとしたお手伝い』や『見守りネットワーク』への関心が高まり、平窪地区での高齢者の見守りネットワーク構築に向けて、協議を進めることとなりました。



【内郷宮地区】

①地域ケア会議を始めました。

内郷宮町にて民生児童委員や行政嘱託員、地域の商店や関係団体、住民の方に呼びかけ地域ケア会議を平成19年から6回にわたり開催しました。「自分たちもいざ高齢となる。ひとりになっても近所の人と関わりがあり、安心して生活できたらいい」と委員が立ち上がりました。



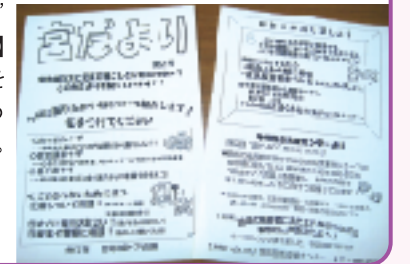
②「見守りの必要な人って??」

ひとり暮らしの高齢者をはじめ、高齢者のみの世帯、身体障がい者、何かと困りごとの多い人、隣組に入っていない人、老人会に入会していない・出てこない人...など地域で気になる人は様々でした。今回は、①ひとり暮らしの高齢者②高齢者のみ世帯③日中高齢者のみの世帯など、地域の気になる高齢者を中心に見守りしていくこととなりました。



②「見守りの必要な人って??」

内郷宮地区の75歳以上の高齢者世帯を対象に、付き合いのない世帯や隣組に入っていない世帯に、“お元気で過ごしていただくために”を目的として【宮だより】を配り、困った時に声をかけ合える関係をつくっていくことになりました。



③「誰に協力してもらうのか！」

平窪地区で見守り活動を行う際の、メンバー（協力員）について考えました。自治会・隣組組織の利用や、子ども見守り隊のメンバー、団塊の世代の退職者、老人会の青年部、あるいは犬の散歩をしている人など、多くの意見がありました。



③「誰に協力してもらうのか！」

「見守りではなく普段の声かけを続けていけるようにしましょう」と地域住民が手を挙げ、今後は地域に密着している関係機関や団体（郵便・牛乳・新聞・乳酸飲料配達員等）にも協力を求めています。また、活動開始後は、協力員の意見や地域住民の反応、困ったことなど話し合える交流の場を設けていくことにしました。



④いわき市長寿介護課より【平窪・内郷宮地区共通】

いわき市長寿介護課よりあんしん見守りネットワーク活動事業について説明を受けました。



⑤高齢者見守り隊の結成！【平窪・内郷宮地区共通】

平成21年7月から9月にかけて、区長、区三役、区福祉部会、老人会青年部、老人会会長、民生委員などが参加し、①見守り隊隊長・副隊長の選出②見守り隊活動規約・活動計画の確認③地区の回覧板を利用した協力員の募集を行い、平成21年9月「平窪地区高齢者見守り隊」「宮一区长寿会」の結団式が行われました。

